ツバメの塒（ねぐら）入り調査（報告）

報告　米道　綱夫

◇日　時　2022 年 7 月 22 日（（金）　午後６時４５分～7 時４０分ごろ
◇場　所　堺市美原区「今池」のヨシ原
◇参加者　野口、酒井、垣井、地域のツバメ見守り隊の小坂さん、米道

野口さんが車で皆さんを乗せて現地のヨシ原に連れて行ってくれました。場所は南海バスの路線バスが走っている通りから僅かに西に入ったところだ。6 時 45 分について上空を見回すがこの時間はまだ太陽が西に沈もうとしている時間でネグラ入りにはまだ早い。西の空は橙色に染まっているが雲がとこどころじゃまをしている。7 時過ぎに上空の大変遠いところツバメが大群で飛んでいる。米粒よりも小さい大きさだ。西から東に飛んだかと思うと今度はその逆だったり、或いは南北にも飛ぶ。一定の方向を持たない。

7 時 10 分に少し低空に飛行してきた。するとすぐに北西の方向から葦の頭を目掛けて大群が塒入りした。ヨシを注意深く見るとヨシの上部にほとんど捕まっている。あまりその下の部分は見えにくいのではっきり分からないが、およそ葦の茎の上部を利用していると思われる。激しくヨシ原に入るのは3分ぐらいで終了した。この時の特徴は一旦塒入りしたかと思うとまた飛び立つツバメがいることだ。それらはまた群れに戻るようだ。続いて 20 分から 25 分の間に第 2 波・3 波・4 波とわずか 5 分の間に盛んに塒入りが始まった。かなり声を出しながらネグラ入りをする。ビデオカメラで音声も撮っているが何とも形容し難い声だ。25 分を過ぎるともう相当に暗く、完全に陽は沈んでいる。残照もない。25 分からの約 5 分間は何も起こらない時間帯だった。ただ遠くの高い青空を見るとツバメがかなりの団体で飛んでいるのが見える。ただし旋回しているようには思えない。7 時 30 分になった。双眼鏡で奥のヨシ原をみると盛んにネグラ入りしているのが見えた。これが第5波だ。一団の数は少なくなるが盛んにネグラ入りをしている。少し間隔をとり 35 分にまたネグラ入りが始まりおよそ 3 分でほとんど終了した。これが6波で数は少ないが、全数がネグラ入りをしている。再び飛びあがろうとするツバメもいなかった。

野口さんが総数を発表、このまえが約 3000 羽を数えたが今日はその時よりだいぶ多いので大体 4000 羽ネグラ入りしたと思われると言った。私も数え方を教えてもらった

が、ある空の一定のところにいるツバメの数を 100 羽単位で数え、100 羽単位のその大きさをツバメの大群中にいくつあるか数えるやり方である。またある人の教わったやり方で 300mm～600mm の望遠レンズでツバメの一団を写真撮影し、その中にいるツバメの数を数えその一団がいくつあったかで総数を決めるやり方である。
7 時 40 分アブラコウモリが出てきた。舞台の登場人物が変わるように背景や主役も変わって夜が続いていくのだろう。

橙色に染まる空をバックに飛び交うツバメの大群

（写真提供：酒井和子）